

のり養殖通報 第2報

千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議 令和元年 10 月 4 日発行

現在、多くの浜では陸上採苗を終えて、台風 18 号の動向に注意しつつ、育苗開始の準備や出庫日の検討をされていることと
思います。本報では育苗開始にあたって、現在の海況や今後の留意点について報告します。

[育苗開始の海況条件]

(水温)23℃以下かつ降下傾向 (塩分)25psu 以上 (pH)8.4 以下 (栄養塩)窒素 100 µg/L 以上, リン 10 µg/L 以上

[現在の海況] 夏の状況！育苗を開始できる海況ではない！

- 水温 船橋から大貫までこの時期では非常に高い水温となっています。
- 塩分 平常値です。
- pH 8.4 以上の漁場が多くなっています。
- 栄養塩 表層の窒素・リンは船橋から大貫までノリの生育基準値を下回っています。
ただし、底層の栄養塩は潤沢にあります。

○現状のまとめ ノリの生育にとって、水温が高く、かつ栄養も不足している状況のため、育苗を開始できる状況に
ありません。

表 1 水質観測結果 (10/2, 3)

	水温	塩分	pH	窒素		リン	
				表層	底層	表層	底層
船橋	25.3	29.0	8.7	66	328	4	71
木更津(BC)	25.2	31.0	8.5	25	265	1	65
富津ベタ	23.8	32.0	8.3	92	196	7	41
2 海ほ下	23.3	32.4	8.4	39	99	2	15
大貫沖(10)	23.7	32.4	8.4	15	—	3	—

[今後の留意点] 水温低下と栄養塩の回復を確認してから育苗を開始！！

- 栄養塩は表層水温の低下に伴い、水の上下混合が始まれば表層に補給されます。台風 18 号による海の攪拌や今後の水温低下に伴い栄養塩の回復は期待できると思います。
- 栄養塩の次回分析は 10 月 10 日を予定しており、速報で通知する予定です。